

---

# 2019年3月期 第3四半期 決算説明資料

---



2019年2月1日



本資料の如何なる情報も、当社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。

1

# 当社グループの報告セグメント

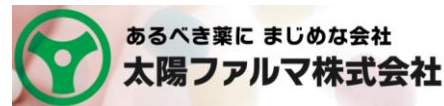
## 電子機器用部材事業

PWB用部材を始めとする電子部品用  
化学品部材の製造販売及び仕入販売



## 医療・医薬品事業

医療用医薬品・医療用医薬部外品  
その他に関する開発・製造販売



## その他

染料・顔料等の化学品の製造販売、  
自然エネルギーによる発電事業及び  
ソフトウェア開発等



※2018年3月期第4四半期より医療・医薬品事業を本格的に開始し、報告セグメントを変更しております。

## 2

## 用語の説明

用語	内容
PWB (Printed Wiring Board)	プリント配線板
SR (Solder Resist)	ソルダーレジスト (レジストインキ)
PKG (Package)	半導体パッケージ

## 3

## 当社グループの製品分野

分野	分類		性状	用途
PWB用 絶縁材料	リジッド	高機能品	液状	表層保護・絶縁用 SR材料
		汎用品		
	PKG		液状 ／ドライフィルム	
	フレキ		液状 ／ドライフィルム	
	ビルドアップ		液状 ／ドライフィルム	
その他 関連商材	その他		液状	マーキング・エッチング・めっき用材料 フラックス・溶剤等・導電性銀ペースト

## ④ 2019年3月期 第3四半期 トピックス

1

**為替は想定レートより円安に推移**

※ (円・USD) 実勢レート：110.8円/通期想定レート:101.5円

2

**前年同期比で販売数量はPKG向けDFが増加  
一方、リジッド向けが減少**

3

**原材料価格の上昇、M&A投資や人員の拡充  
によるコストの増加**

4

**太陽ファルマ 長期収載品13製品は中期計画通り  
(2019年1月8日 製造販売承認等の移管手続き完了)**

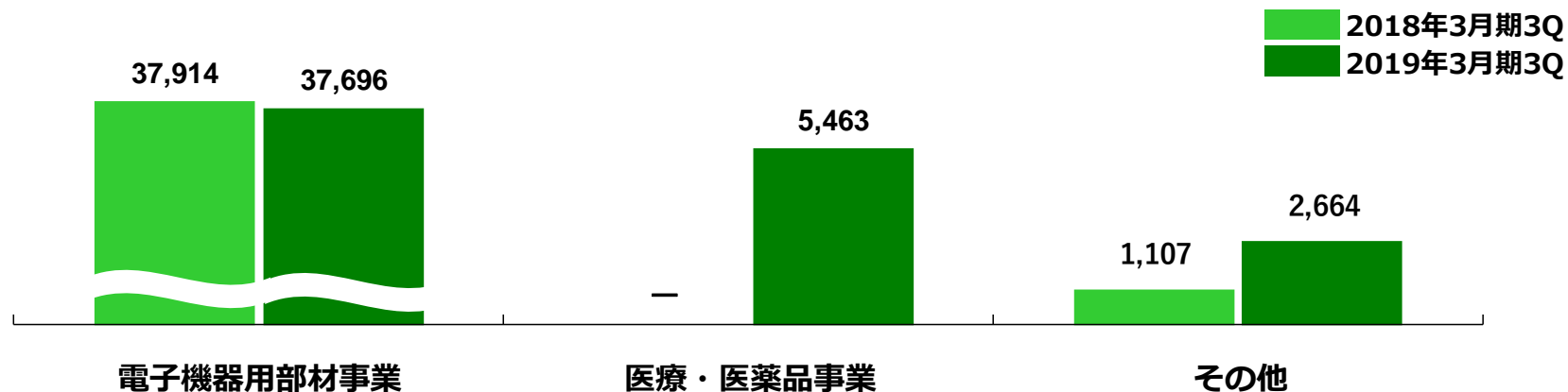
## 連結業績サマリ

単位：百万円

	2018年3月 第3四半期 累計実績	2019年3月 第3四半期 累計実績	前期比	増減率	2019年3月期 通期 業績予想	達成率
売上高	39,022	45,737	+6,715	+17%	60,200	76%
営業利益	8,699	7,604	-1,095	-13%	9,800	78%
経常利益	8,659	7,533	-1,126	-13%	9,600	78%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	6,160	5,444	-716	-12%	6,700	81%
円・USDレート	111.8	110.8			101.5	

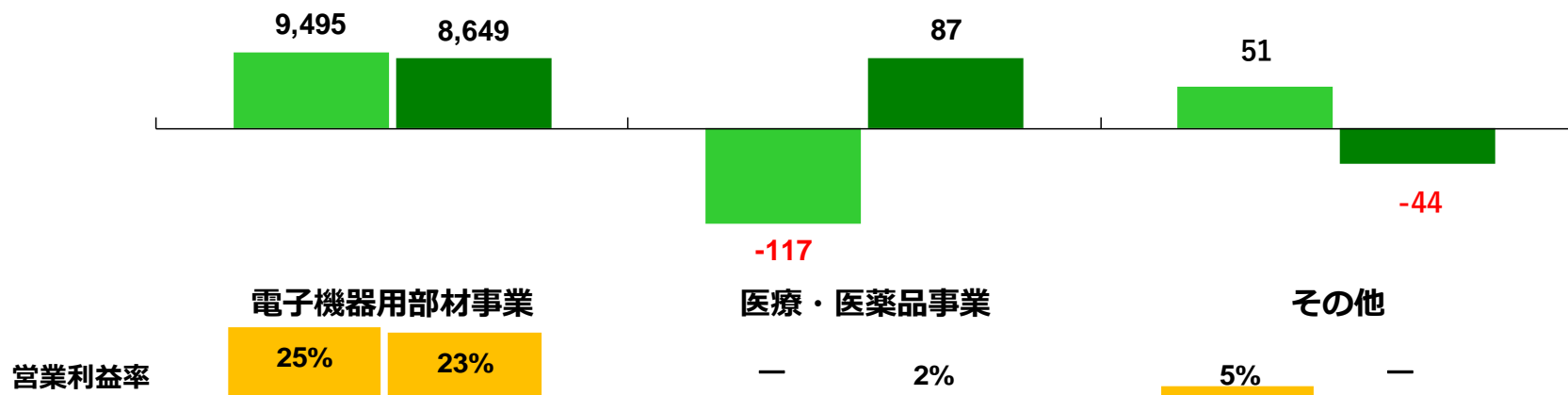
## セグメント別：売上高 (セグメント間売上高・振替含む)

単位：百万円



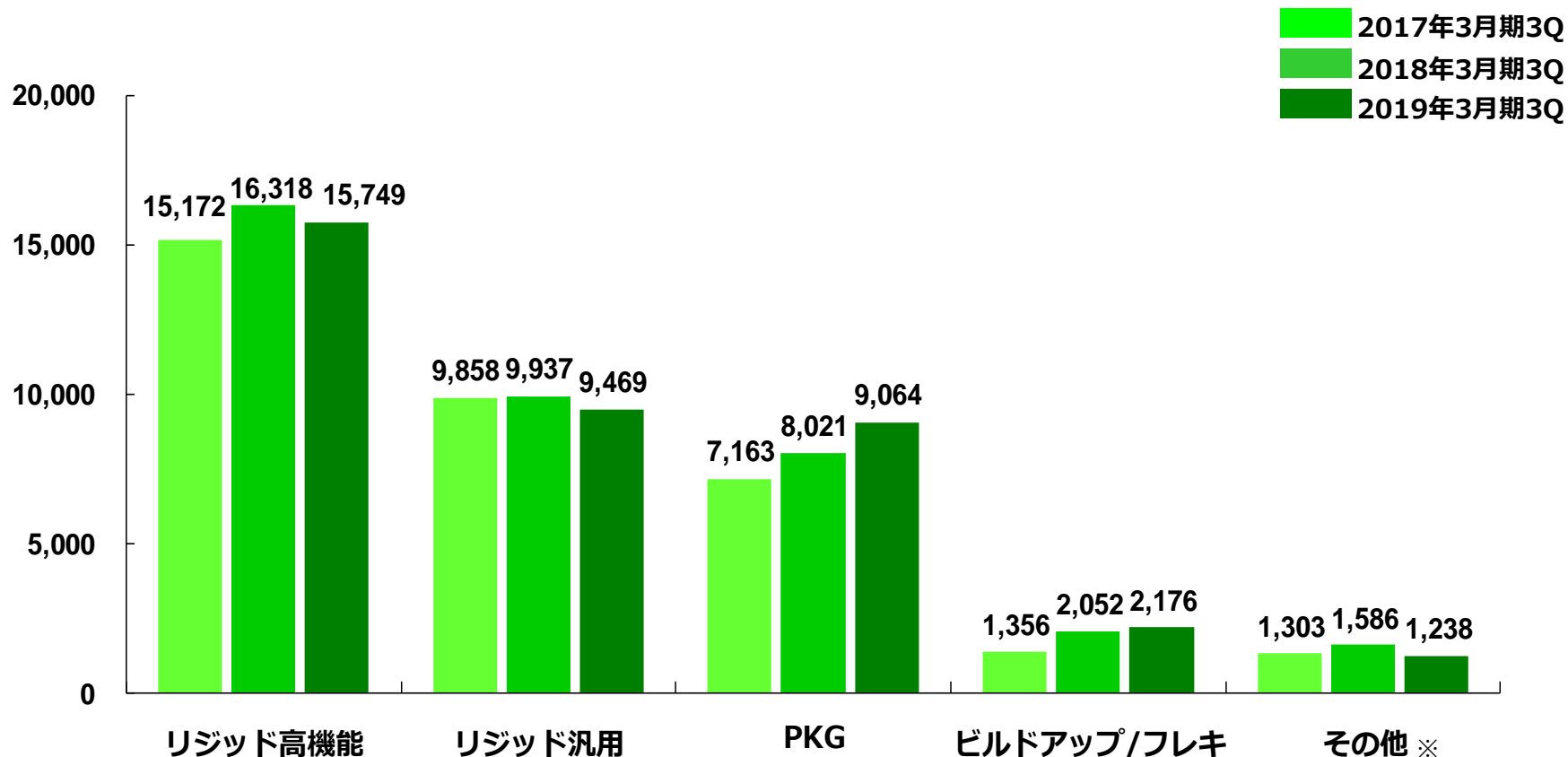
## セグメント別：営業利益 (セグメント間売上高・振替含む)

単位：百万円



## 製品区分別売上高

単位：百万円

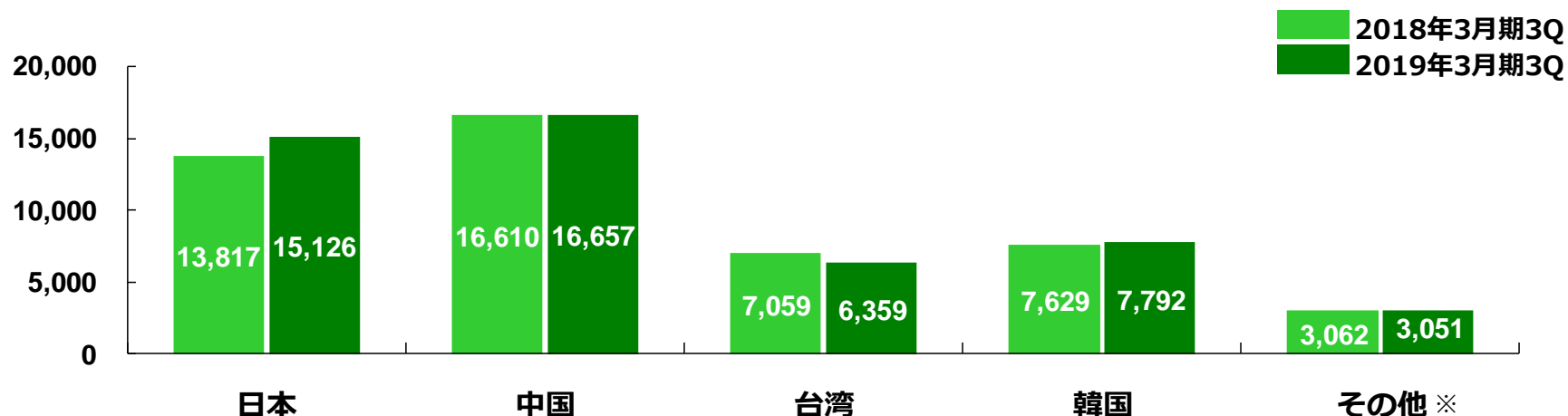


※2018年3月期第4四半期から報告セグメントを変更したことにより、電子機器用部材事業の「その他」製品区分につきましては、太陽ファルマ、中外化成、太陽グリーンエナジー、MNT 及びTMCの売上高は含まれておりません。



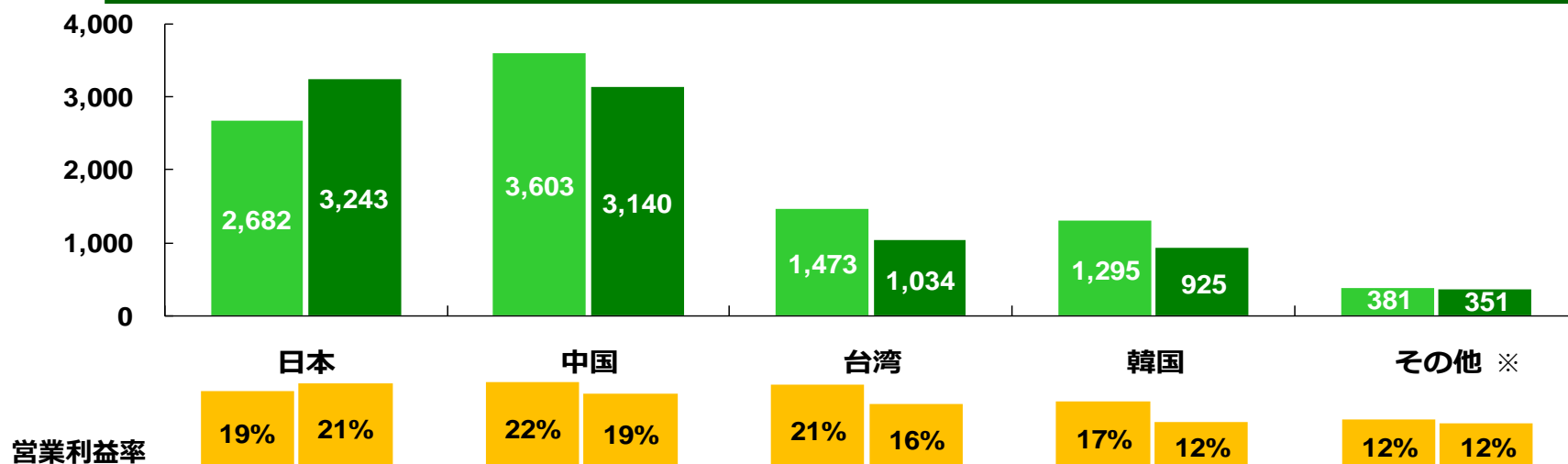
## 地域別：売上高 (地域間売上高・振替含む)

単位：百万円



## 地域別：営業利益 (地域間売上高・振替含む)

単位：百万円



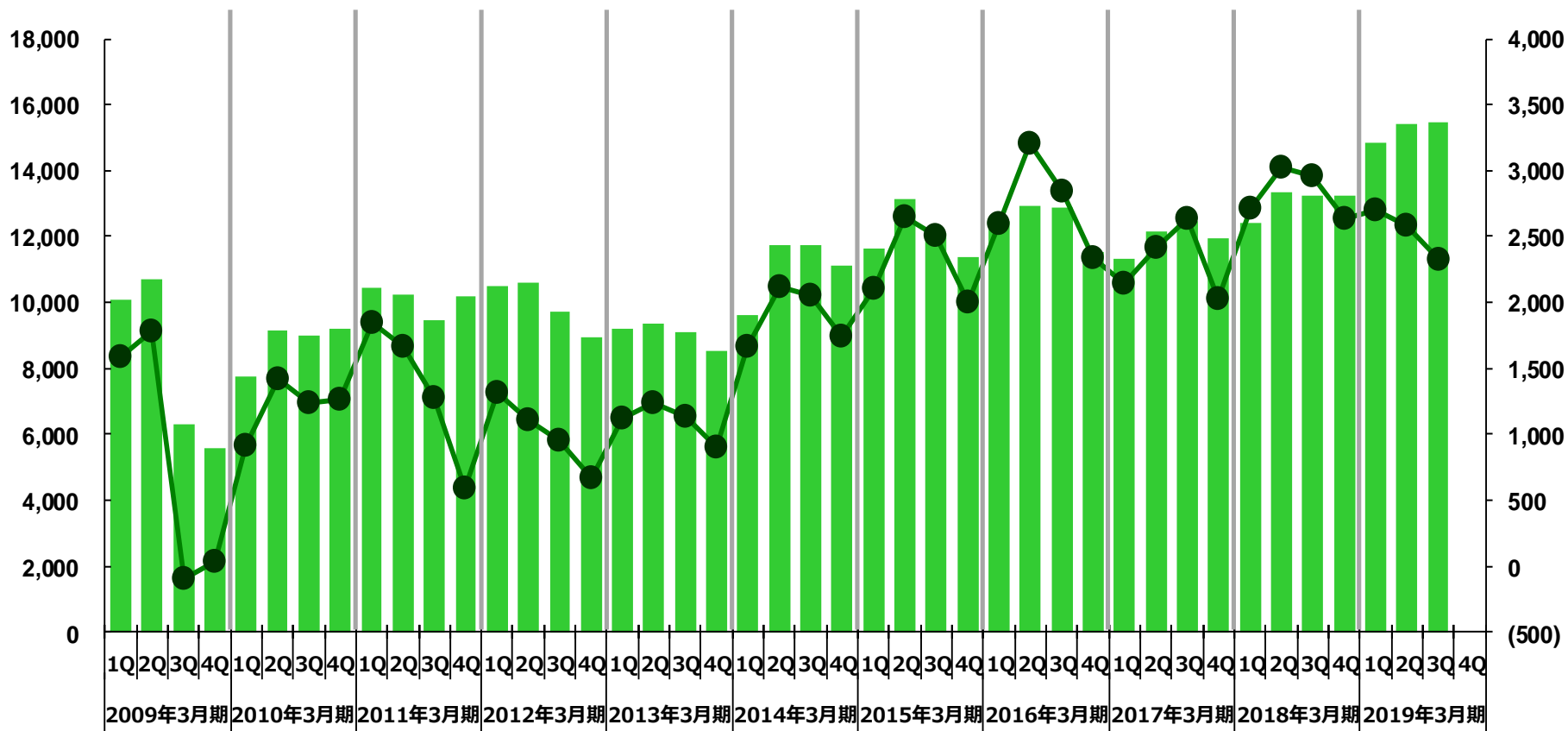
※2018年3月期第4四半期から報告セグメントを変更したことにより、電子機器用部材事業の地域別売上高・営業利益につきましては、太陽ファルマ、中外化成、太陽グリーンエナジー、MNT 及びTMCIは含まれておりません。

# 9 売上高・営業利益 四半期別推移

## 四半期別推移：売上高/営業利益

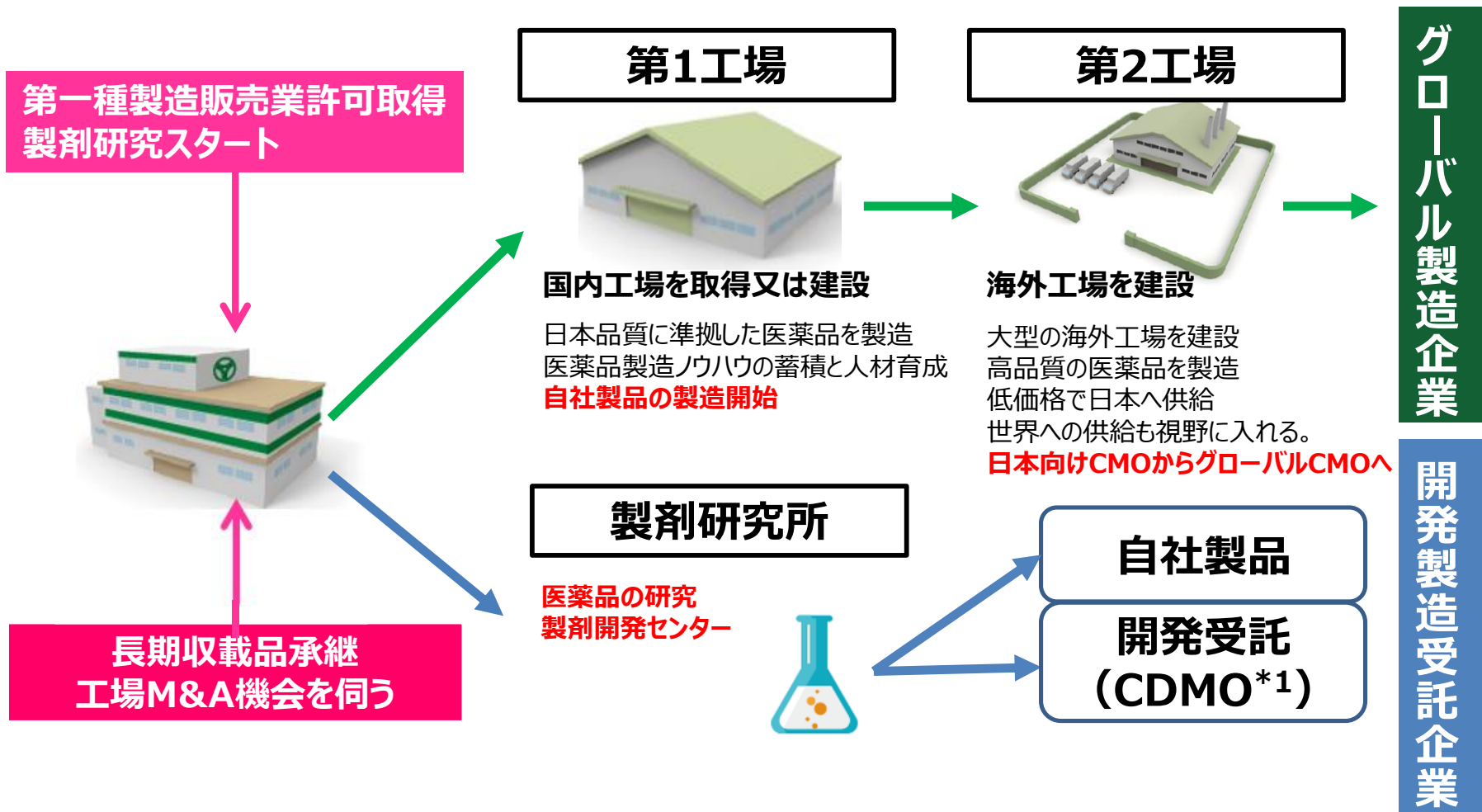
単位：百万円

■ 売上高（左軸）  
● 営業利益（右軸）



# 医療・医薬品事業

---



\*1 CDMOとはContract Development Manufacturing Organizationの略語であり、主に製薬企業から医薬品などの製造を受託するビジネスを指す。

# 12 中期戦略

## 長期収載品

- ・長期収載品の製造販売権を追加取得

## 製造工場

- ・製造工場を取得し、自社保有の長期収載品について、外注から内製へ変更
- ・医薬品の製造ノウハウの蓄積と人材の育成
- ・他社製品の製造受託
- ・海外工場の建設

## 研究開発

- ・買収もしくは自社設立にて研究開発を開始
- ・新剤型製品等の自社製品の開発

単位：百万円

	2018年3月期 8月-3月 (0年目)	2019年3月期 4月-3月 (1年目)	2020年3月期 4月-3月 (2年目)	2021年3月期 4月-3月 (3年目)	2022年3月期 4月-3月 (4年目)	2023年3月期 4月-3月 (5年目)
売上高	820 ※1	7,592 ※2	9,113	8,634	8,362	7,732
売上総利益	820	3,816	4,053	3,920	4,626	4,093
販管費	811	4,151 ※3	3,701	3,388	3,363	2,961
営業利益	9	(334)	351	532	1,263	1,132
販売権償却額	353	1,411	1,411	1,411	1,411	1,411
販売権償却前 営業利益	361	1,077	1,763	1,943	2,674	2,543

※1 製造販売承認等の移管前の2018年1月から3月までの売上は、13品目の医薬品売上から中外製薬、Rocheの製造原価、販売費用、手数料等を差し引いた金額

※2 製造販売承認等の移管は2018年4月以降から順次行い、2018年12月末で完了致しました。

※3 2019年3月期の販管費には、製造移管に係る費用などの初期費用約5億円を含む



NEXT STAGE - 新たな展開へ -

明日の地球に出来ること  
For Tomorrow